



武蔵野

学校だより NO. 3
令和 5年 6月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 大河原 博



武蔵野小 HP

協働して見守ることで安心・安全な学校生活を

副校長 大森 雅之

6年生は、5月21日(日)から2泊で日光移動教室に行ってきました。日光の自然や歴史について、実際に見たり聞いたりして体験することで学びを深めました。また、宿泊を通してこれまで知らなかった友達の姿に触れ、友達との絆を深める三日間となりました。学んだことを今後の学校生活に生かし、学校を中心として活躍することを期待しています。

5年生は、今週の金曜日(6/2)から1泊で清里移動教室に行ってきます。6年生同様、宿泊行事を通して多くの学びがあること、人として成長することを期待しています。

さて、1学期も折り返し後半となりました。新しい学級になり2か月がたち、お子様は安心・安全に登校できているのでしょうか。学校では担任を中心に、全教職員で児童の様子を丁寧に見てまいります。学校とご家庭とが違った立場からお子様の心身に焦点を当て、協働して見守ることが安心・安全につながります。気になることがありましたら、遠慮なく担任、学校までご連絡ください。

学校では、児童が安心して登校できるよう教育相談体制の充実を図り、次のような取組を行っています。

- 1 「児童や保護者の方が相談しやすい環境を整え、相談できる大人を増やします。」担任だけでなく、学年主任、養護教諭、生活指導主任、管理職、お子様の悩みについて誰にでも気軽に相談できる体制を整えます。
- 2 「SOSの出し方に関する指導を実施します。」お子様が困ったときに、周りの大人に相談できるよう定期的に学ぶ場を設定します。
- 3 「スクールカウンセラーや相談できる外部機関を紹介します。」児童や保護者の方が悩みを相談できる機関を紹介し、連携して支援に当たります。
- 4 「年間3回「学校生活アンケート」を実施し、お子様の声に耳を傾けます。」声に出すことが苦手なお子様の悩みにも寄り添えるよう6月・11月・2月にアンケートを実施して支援の手掛かりにします。また、ご家庭と連携して支援に当たります。
- 5 「いじめや不登校に関する教職員研修を計画的に実施します。」研修を通して教職員の気付きを確かなものとし、支援のスキルを高めます。

6月はふれあい月間です。ご家庭でお子様とゆっくりと、向き合ってください、会話する機会をつくっていただけたらと思います。何気ない会話を通して、親子の「心のふれあい」ができることを願っています。